

「環境カウンセラー研修(近畿地区)」終わりました。

今年の「環境カウンセラー研修(近畿地区)」は、古都「奈良」で開催されました。当日は、小雨が降ったり、止んだり、あいにくの天気でしたが、雨に洗われた紅葉のきれいなこと。雨が上がったお昼休みに会場前の公園に行って束の間の紅葉狩りを楽しみました。

日本政府が「E S D(持続可能な開発のための教育)」を国際的な立場から推進することを提唱してから10年ということで、E S Dに焦点を当てた研修が繰り返されました。

O E C Aからは、宮村隆義さんが「持続可能なまちづくりを目指す枚方市の取組」を報告いたしました。枚方市は、川崎市と並んで、環境教育の先駆的な自治体と言われているようで、参加者の質問や意見が飛び交い、活気のあるディスカッションが展開され、素晴らしい報告となりました。



【要旨】第2次枚方市環境基本計画(1次基本計画策定：平成13年2月)の環境基本計画の施策の推進体制が確立された。環境施策の推進に当たっては市民・事業者・行政の三者が協働して環境施策を推進させるため、「人づくり」を第一番として掲げているのは、全国的にみて、非常に珍しく、画期的です。枚方市立学校園においては、教職員が率先して、学校園事務から生じる環境負荷の低減を図り、あわせて、幼児・児童・生徒・保護者に向けては、環境保全意識の向上を目指し、環境教育を充実させています。